

P17 初診時3歳未満の子どもたちの当院での管理状況 -定期健診の受診に関して-

Investigation of management for children of less than 3 years at first visit in our office

-about recall for dental health check-ups-

○ 田中克明

Tanaka Katsuaki

田中こども歯科医院（佐賀県鳥栖市）

Dental clinic for children, TANAKA

当院は2004年6月に開院したが、当初から健診や予防処置を希望とする歯科疾患のない子どもたちの来院が多いことを実感している。その一方で、重傷カリエスや外傷など緊急を有する子どもたちの対応も少なくない。小児歯科の目標は「健全な永久歯咬合の育成」であり、そのためには定期健診での管理が重要となる。また医院運営面からも定期健診の受診率が高いことが望ましい。様々なきっかけで来院された子どもたちの当院における管理状況、定期健診の状況を分析し、地域で求められる小児歯科医院の姿、さらに医院運営について考察したい。

【調査対象】

2006年7月～2007年6月における初診時3歳未満の子どもたち190名

【結果】

初診時の主訴：「健診、予防」が主訴の割合が42%と最も多かった。次いでカリエスの32%であった。

疾病状況：疾病のない者が半数を越えていた（53%）。カリエスは35%の子どもにみられた。緊急の処置を有する子どもはカリエス、外傷など全てを含め16%であった。

管理状況（定期健診の受診）：定期健診の受診率は全体で59%であった。「健診、予防」という疾病としての主訴のない子どもたちの定期健診受診率は68%で、主訴をもって来院された子どもたちの52%を上回った。

発表ではさらに、定期健診受診率と疾病状況や処置内容などとの関係を分析した結果を提示する。